



伊保小だより

NO. 5

令和5年7月13日

高砂市立伊保小学校

校長 山口 收

6年生が修学旅行、5年生は自然学校に行ってきました。

◆6月13日・14日、6年生が奈良・京都に修学旅行へ行きました。6年生のみなさんは、旅行中とっても立派な態度で行動していました。集合も早く、ゆとりをもって行程を進めることができました。ガイドさんの話をゆっくり聞くこともでき、中身の濃



い2日間を過ごしました。



お土産を買っているときのことです。日頃お世話になっている人のことを頭に浮かべ、どれがいいかな、こっちかなと迷ったり、友だちと相談しながら選んだりする姿が、とってもほほえましかったです。お土産も、お土産話も大切な思い出になります。

「観光」とは、その土地、その土地のすばらしいところ「光」を、「観(み)る」という意味です。修学旅行では、奈良や京都のすばらしいところ「光」に加えて、友だちのすばらしいところ「光」も見つけて、楽しい修学旅行になりました。

◆6/30(金)～7/4(火)は、5年生が4泊5日の自然学校に行きました。令和元年以来、4年ぶりの連泊です。学校や家庭を離れ、自然の中、友だちといっしょに過ごしました。



4日目のキャンプファイヤーでは、学級のみんが協力したスタンプを行い、感動いっぱいの時間となりました。

自然学校では、毎日毎日の規則正しい生活を、まず大切にしています。朝起きて身支度をする、3度のご飯を食べること、お風呂に入ること……などが、すっとできることで、その日のプログラムが楽しみやすくなりました。「続けると身につく」「慣れると楽になる」ということば通り、子どもたちは日々成長していました。



食事係さんは、毎回のご飯のたびに、他の子よりも早く来て、準備してくれます。自分たちの班が終わると、他の班へ、さらには先生たちや救急医療員さん、指導補助員さんの分まで用意してくれました。感謝でいっぱいです。

自然学校から帰ってきた終わりの式では、自然学校を支えてくれた方へ、感謝の言葉を言っていました。「縁の下の力持ち」、目には見えないかげで支えてくれていた人にも気づいていました。

◆全校生のみなさんも、1学期に多くの「体験」をしました。体験を振り返り、さらに学ぶことで、体験を「経験」として、今後の生活に生かして行ってほしいと思います。